

みのり句会

兼題 『出水（でみず）』

〔選と評〕 ホトトギス同人 福島 テツ子

河原草洗ふ出水のすさまじさ 秋草 君枝

（評）川辺りの伸びきっている草々が出水に押し流されている怖さを見て作者、句がしっかりと分かりやすく仕上がっている

（あいうえお順）

◇多摩川の出水たちまち家流る 石川 れい子

◇ドクダミの花取り干してお茶作り 江刺 厚子

◇用水路出水のごとく田にあふれ 小野瀬 俊江

◇出水きて町内いかだで往来す 瓦崎 八重子

◇雨やどり道端出水急ぎ足 菅野 信子

◇雨あがり出水の勢いさらに増す 後藤 田鶴子

◇初蜩風に吹かれてふはりふはり 田中 弘子

◇紫陽花や日々に大きく丸くなり 白木 弘子

◇紫陽花の色づくたびに時を知る 富田 果蓮（大）

◇出水過ぎまた胸の奥濁りけり 富田 晴成（高）

◇おおこれぞ水底見へぬ出水かな 中村 くみ子

◇夏の川元気に魚泳いでる 中山 颯（小）

◇テレビにて出水予報に仕事終ふ 野口 貴美子

◇梅雨空を写して路地の水たまり 榎 卓

◇見なれたる町が一変して出水 福島 テツ子

八月の句会は夏休みです。

一人三句ですが、兼題二句、他の季語で一句作ってください。

投句の方は、全句を書いた紙一枚、短冊に一句ずつ、百十円切手

三枚（参加費）、返信用封筒（百十円切手と記名）を同封して月末迄に

「事務局」に届くようにお送りください。



「支え合う会 みのり」の歩み

- 一九八三年「稲城の老後を支える会」として発足
- 一九八四年 会食会サービスをスタート
- 一九八九年「稲城の老後を支え合う会」と改称
毎日型の配食（夕食）サービスを開始
- 二〇〇〇年四月 特定非営利活動法人
支え合う会 みのりと改称
- 二〇〇二年 稲城市委託事業
高齢者食生活改善事業を開始
- 二〇〇三年 稲城市委託事業
かがやき倶楽部みのりを開始
二〇一五年 総合事業に移行
- 二〇一二年 居場所作り「カフェいしださんち」を開始
- 二〇一六年 他機関との地域社会づくり連携事業開始
- 二〇一九年 東長沼に活動拠点を移転
- 二〇二五年 ホームページ開設

「現在の活動」

- ◎配食サービス
（東長沼の拠点で週5回 月々金）
- ◎会食会サービス・クッキングクラブ梨穂
（公共施設等 9会場で開催）
- ◎ミニデイサービス『たまりば』
- ◎稲城市委託事業（高齢者食生活改善事業）
- ◎訪問サービス
- ◎居場所作り「カフェいしださんち」
- ◎介護予防・日常生活支援総合事業A
かがやき倶楽部みのり
- ◎他機関との連携事業
- ◎広報活動（会報・ホームページ・ブログ）など

この法人は、高齢者の福祉を自分の問題として考え、支え合いの精神で、在宅福祉活動を行い、支える者と支えられる者が対等な立場を保ち、住み慣れた地域に安心して、生き生きと住み続けられる地域社会づくりに寄与することを目的とします。